

不適合情報

2018年5月15日(火)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。
 なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、審議時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
 法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてご覧ください。

<http://www.tepco.co.jp/kk-mp/data/inside/pdf/image1.pdf>

1. G I グレード 0件

2. G II グレード 0件

3. G III グレード 7件

NO.	号機等	不適合事象	備考
1	2号機	原子炉建屋高電導度廃液系脱塩塔バルブ(A)室の照明用スイッチに動作不良を確認した。当該スイッチを点検・修理。	
2	3号機	所内蒸気系凝縮水排水装置の点検時、装置5台の内部部品(フロート)に管理値を超える摩耗および損傷を確認した。当該部品を修理。	
3	5号機	放射線管理区域内で作業していた協力企業作業員が、放射線管理区域から退出する際、退出モニタの測定で右足裏に放射性物質が付着していることを確認した。当該事象の原因を調査。なお、当該箇所は除染済み。	
4	5号機	非常用ディーゼル発電機(A)の自動起動用空気貯槽2次ドレン弁にシートパスを確認した。当該弁を点検・修理。	
5	5号機	排気筒放射線モニタ(シンチレーション検出器)(B)記録計の6時間毎の印字に印字不良を確認した。当該記録計を点検・修理。なお、指示値および連続記録に異常なし。	
6	6号機	低電導度廃液系収集ポンプ(A)のメカニカルシール部より微量な水の滴下を確認した。当該シール部を点検・修理。	
7	7号機	タービン系ロジックモニタ装置の故障詳細情報表示に誤表示を確認した。当該事象の原因を調査し点検・修理。	